



平成20年3月期

第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4188 URL <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>  
 代表者 取締役社長 取締役社長 小林 喜光  
 問合せ先責任者 役職名 広報・IR室長 荒木 寛孝 TEL (03)6414-4870

## 1.平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期 第1四半期	665,009	9.7	33,373	13.6	36,889	5.7	20,652	5.2
19年3月期 第1四半期	606,282	10.0	29,390	21.8	34,898	16.7	21,796	14.7
19年3月期	2,622,820		128,589		141,296		100,338	

	1株当り四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当り四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期 第1四半期	15	08	15	07
19年3月期 第1四半期	15	90	-	-
19年3月期	73	25	73	21

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当り純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期 第1四半期	2,370,723	772,051	772,051	772,051	30.6	530	55	
19年3月期 第1四半期	2,114,506	727,258	727,258	727,258	31.2	481	19	
19年3月期	2,318,832	758,752	758,752	758,752	30.7	520	05	

## 2.平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

中間期及び通期ともに、平成19年5月10日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当り当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	1,370,000	8.4	61,000	7.7	59,000	8.6	31,000	50.0	22	63
通期	2,900,000	10.6	148,000	15.1	145,000	2.6	186,000	85.4	135	82

\*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 3.その他

- (1) 期中における重要な連結子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 全般の概況

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日;以下同じ)における日本経済は、EUや東アジア経済の好調持続に伴う輸出の増加、高水準の企業収益を背景とした設備投資の増加、及び個人消費が底堅く推移していること等により、引き続き緩やかな拡大基調で推移しました。

当社グループの事業環境については、原燃料価格が大幅に高騰する状況にあったものの、国内外における堅調な需要に支えられ概ね良好でした。

この様な状況下、当社グループの当第1四半期の売上高は、6,650億円(前年同期比587億円増(+9.7%))となりました。利益面では、営業利益は334億円(同40億円増(+13.6%))となり、経常利益は、369億円(同20億円増(+5.7%))、当期純利益は、207億円(同11億円減(-5.2%))となりました。

#### (2) 部門別の概況

##### 石化セグメント

基礎素材であるエチレンの生産量は、前年同期並みの28万トンとなりました。基礎石化製品・化成品・合成繊維原料・合成樹脂の事業環境は、引き続き国内外の需要は好調に推移した一方で、原燃料価格は前年度第3四半期から第4四半期にかけての軟化傾向から一転し、急激に高騰するという状況でした。当社グループにおいても原燃料価格高騰の影響を受け、国内外の製品価格是正につとめました。

以上の結果、石化セグメントの売上高は3,343億円(前年同期比542億円増(+19.4%))となり、営業利益は、在庫受払差益の増加もあり、81億円(同63億円増(+350.5%))となりました。

当第1四半期に石化セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、鹿島事業所(茨城県神栖市)において、プロピレン生産能力の増強を決定。(4月)
- 北京聚菱燕塑料社(中国・北京市)が、広東省佛山市にポリプロピレンコンパウンドの新工場を建設することを決定。(6月)

##### 機能商品セグメント

機能化学事業のうち、情報電子関連製品のDVDは、販売単価は値下がりしたものの、需要が引き続き好調であり販売数量は伸長したことから、売上げは増加しました。OPCドラム・トナー等のプリンター・コピー機関連材料の売上げは前期並みとなりました。炭素事業は、国内の鉄鋼需要は堅調に推移したものの、コークス輸出価格が原料炭市況の下落に伴い値下がりしたため、売上げは若干の減少となりました。

機能材料事業のうち、各種フィルム・シート製品は、液晶ディスプレイ用保護フィルム向けを中心に好調に推移し、情報電子材料向け等の樹脂射出成型品、炭素繊維・アル

ミナ繊維等の産業資材、及び建築材料は順調に売上げを伸ばしました。

以上の結果、機能商品セグメントの売上高は2,256億円(前年同期比26億円増(+1.2%))、営業利益は141億円(同4億円増(+2.8%))となりました。

当第1四半期に機能商品セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 平成19年2月から3月にかけて実施した公開買付けにより取得できなかった三菱樹脂(株)株式に対して平成19年10月1日を効力発生日として実施する株式交換の比率を、三菱樹脂(株)株式1に対し当社株式0.41とすることを決定。(4月)
- 三菱化学産資(株)が、トラック用ポリプロピレン製長尺床下防水シート「ユカプルーフ」を発売。(4月)
- 三菱化学産資(株)が、三菱化学産資アメリカ社(米国・バージニア州)において、金属樹脂積層版「アルポリック」生産設備の増設を実施。(4月)
- 三菱樹脂(株)が、浅井工場(滋賀県長浜市)内に共押出多層フィルム「ダイアミロン」生産設備を増設。(5月)
- 三菱樹脂(株)が、二軸延伸ガスバリアナイロンフィルムに優れた直線カット性を付与した新グレード「スーパーニール Mグレード」を開発。(6月)

#### ヘルスケアセグメント

医薬品事業は、抗血小板剤「アンブラグ」や脳保護薬「ラジカット注」等主力医薬品が前期に引き続き堅調でした。臨床検査事業・治験検査事業は、いずれも堅調に推移しました。

以上の結果、ヘルスケアセグメントの売上高は762億円(前年同期比2億円増(+0.3%))となり、営業利益は、研究開発費等の販売管理費の増加により、115億円(同15億円減(11.4%))となりました。

当第1四半期にヘルスケアセグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- (株)三菱化学ビーシーエル、(株)三菱化学ヤトロン、及び(株)三菱化学安全科学研究所の3社の事業を統合し、三菱化学メディエンス(株)が発足。(4月)
- バイオマーカー探索研究の強化を目的とし、ゾイジーン(株)の事業を再編し(株)モレキュエンスとして発足。(4月)
- 三菱ウェルファーマ(株)が、田辺製薬(株)との間で平成19年10月1日付で合併することについて最終合意し、合併契約書を締結。(4月)
- 三菱ウェルファーマ(株)が、田辺製薬(株)と合併後の田辺三菱製薬(株)の企業理念、目指す姿、シンボルマーク、及び経営目標等を策定。(5月)
- 三菱ウェルファーマ(株)が、酸分泌抑制薬「オメプラゾン錠10mg」において、「非びらん性胃食道逆流症」の新効能・効果及び新用法・用量の追加承認を取得。(5月)
- 当社及び三菱ウェルファーマ(株)が、MPヘルスケアベンチャー マネジメント社(米国・マサチューセッツ州)に対し、平成19年8月までに両社合計で70百万USドルの増資を実施し、資本金を100百万USドルとすることを決定。(6月)

#### その他

エンジニアリング部門、物流部門を中心に各事業とも順調に進捗しており、売上高は289億円(前年同期比17億円増(+6.2%))、営業利益は22億円(同2億円増(+10.5%))となりました。

#### グループ全般

当第1四半期にセグメント以外の各部門で実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、京都大学と他4社とで行ってきた、次世代の有機系エレクトロニクス・デバイス革新技術の研究開発による新産業の創出を目的とした共同研究を、3年間延長することを決定。(4月)

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、季節的要因等によるたな卸資産の増加、設備投資の拡大による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ519億円増加し、2兆3,707億円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は順調に推移しておりますが、今後の原燃料価格の先行きが不透明なこともあり、現時点では平成19年5月10日に公表いたしました中間期及び通期の業績予想は変更しておりません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。

また、その他影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更及び追加情報

会計処理方法の変更

当第1四半期より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

追加情報

当第1四半期より、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額まで償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。

これらの結果、従来の方法によった場合と比べて、営業利益は2,433百万円少なく、経常利益及び税金等調整前四半期(当期)純利益は2,678百万円少なく計上されております。

## 5. 平成20年3月期 第1四半期 連結財務諸表

平成19年7月31日  
(株)三菱ケミカルホールディングス

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計 年度末 (平成19.3.31)	当第1四半期末 (平成19.6.30)	前年同四半期末 (平成18.6.30)		前連結会計 年度末 (平成19.3.31)	当第1四半期末 (平成19.6.30)	前年同四半期末 (平成18.6.30)
<b>流動資産</b>	1,145,798	1,182,172	979,487	<b>流動負債</b>	1,010,707	1,053,238	856,557
現金及び預金	69,509	72,115	60,876	支払手形及び買掛金	438,375	414,696	364,232
受取手形及び売掛金	582,503	573,257	475,702	短期借入金	252,036	278,395	199,893
たな卸資産	362,463	383,918	332,383	コマーシャルレター	20,000	15,000	22,000
その他の貸倒引当金	133,005	154,692	112,536	1年以内償還社債	55,600	65,596	20,000
	1,682	1,810	2,010	賞与引当金	26,972	18,640	16,191
				その他引当金	12,338	13,130	11,904
				その他	205,386	247,781	222,337
<b>固定資産</b>	1,173,034	1,188,551	1,135,019	<b>固定負債</b>	549,373	545,434	530,691
(有形固定資産)	(724,438)	(736,323)	(694,369)	社債及び転換社債	209,115	199,109	234,739
建物及び構築物	208,136	213,001	208,738	長期借入金	202,922	211,868	145,471
機械装置及び運搬具	236,211	262,463	231,571	退職給付引当金	86,274	85,664	101,982
土地	172,396	172,499	176,826	その他引当金	16,135	16,014	30,177
建設仮勘定	84,764	65,263	55,199	その他	34,927	32,779	18,322
その他	22,931	23,097	22,035				
(無形固定資産)	(35,369)	(35,376)	(21,473)	<b>負債合計</b>	1,560,080	1,598,672	1,387,248
のれん	18,043	18,057	6,194				
その他	17,326	17,319	15,279	<b>株主資本</b>	631,149	642,165	581,148
(投資その他の資産)	(413,227)	(416,852)	(419,177)	資本金	50,000	50,000	50,000
投資有価証券	336,047	339,523	330,280	資本剰余金	379,793	379,812	401,913
その他	78,510	78,591	90,058	利益剰余金	322,049	333,206	249,411
貸倒引当金	1,330	1,262	1,161	自己株式	120,693	120,853	120,176
				評価・換算差額等	81,011	84,306	78,102
				その他有価証券評価差額金	80,016	82,624	79,265
				繰延ヘッジ損益	16	32	92
				土地再評価差額金	1,858	1,765	1,886
				為替換算調整勘定	3,179	2,374	2,957
				在外子会社の年金債務調整	4,026	2,489	-
				新株予約権	543	519	256
				少数株主持分	46,049	45,061	67,752
				<b>純資産合計</b>	758,752	772,051	727,258
<b>資産合計</b>	2,318,832	2,370,723	2,114,506	<b>負債、純資産合計</b>	2,318,832	2,370,723	2,114,506

(注) 在外子会社の年金債務調整額

前年同四半期末(平成18年6月30日)欄の「利益剰余金」には、「在外子会社の年金債務調整額」3,150百万円が含まれております。

## (2) 連結損益計算書

(単位:百万円、%)

	前年同四半期	当四半期	増減		前連結会計年度
	(平成18.4.1～平成18.6.30)	(平成19.4.1～平成19.6.30)	金額	増減率	(平成18.4.1～平成19.3.31)
	金額	金額	金額		金額
高価	606,282	665,009	58,727	9.7	2,622,820
売上原価	485,606	534,789	49,183	10.1	2,104,642
総利益	120,676	130,220	9,544	7.9	518,178
販売費及び一般管理費	24,560	25,615	1,055	4.3	99,607
一般管理費	66,726	71,232	4,506	6.8	289,982
(販売費及び一般管理費合計)	(91,286)	(96,847)	(5,561)	(6.1)	(389,589)
営業利益	29,390	33,373	3,983	13.6	128,589
営業外収益	484	667	183	37.8	1,785
受取配当金	2,073	2,058	15	0.7	4,460
持分法による投資利益	4,802	3,870	932	19.4	15,210
為替差益	549	3,382	2,833	516.0	5,118
固定資産賃貸料	912	879	33	3.6	3,570
その他	2,072	1,595	477	23.0	8,986
(営業外収益合計)	(10,892)	(12,451)	(1,559)	(14.3)	(39,129)
営業外費用	2,937	4,223	1,286	43.8	12,432
支払利息	622	591	31	5.0	4,333
固定資産整理損	-	1,934	1,934	-	-
開業費償却	1,825	2,187	362	19.8	9,657
その他	(5,384)	(8,935)	(3,551)	(66.0)	(26,422)
(営業外費用合計)	(5,384)	(8,935)	(3,551)	(66.0)	(26,422)
経常利益	34,898	36,889	1,991	5.7	141,296
特別利益	4,544	324	4,220	92.9	6,592
投資有価証券売却益	1,303	-	1,303	-	3,179
固定資産売却益	-	348	348	-	1,577
その他	(5,847)	(672)	(5,175)	(88.5)	(11,348)
(特別利益合計)	(5,847)	(672)	(5,175)	(88.5)	(11,348)
特別損失	-	913	913	-	-
たな卸資産整理損	95	75	20	21.1	300
早期定年退職一時金	359	619	260	72.4	14,542
その他	(454)	(1,607)	(1,153)	(254.0)	(14,842)
(特別損失合計)	(454)	(1,607)	(1,153)	(254.0)	(14,842)
税金等調整前四半期(当期)純利益	40,291	35,954	4,337	10.8	137,802
税金費用	17,737	15,570	2,167	12.2	33,351
少数株主利益又は少数株主損失( )	758	268	1,026	-	4,113
四半期(当期)純利益	21,796	20,652	1,144	5.2	100,338

平成20年3月期 第1四半期 参考情報

セグメント別連結売上高及び営業利益

セグメント別連結売上高(外部顧客に対する売上高) (単位:百万円)

	前年同四半期 (平成18.4.1~平成18.6.30)	当第1四半期 (平成19.4.1~平成19.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成18.4.1~平成19.3.31)
石化	275,971	334,305	58,334	1,246,389
機能商品	227,152	225,663	1,489	925,249
(機能化学)	(132,108)	(132,719)	(611)	(525,706)
(機能材料)	(95,044)	(92,944)	(2,100)	(399,543)
ヘルスケア	76,004	76,198	194	304,722
その他	27,155	28,843	1,688	146,460
合計	606,282	665,009	58,727	2,622,820

セグメント別連結営業利益 (単位:百万円)

	前年同四半期 (平成18.4.1~平成18.6.30)	当第1四半期 (平成19.4.1~平成19.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成18.4.1~平成19.3.31)
石化	1,558	8,051	6,493	28,197
機能商品	13,945	14,103	158	59,358
(機能化学)	(9,319)	(9,548)	(229)	(35,037)
(機能材料)	(4,626)	(4,555)	(71)	(24,321)
ヘルスケア	12,950	11,472	1,478	39,616
その他	2,005	2,216	211	10,588
コーポレート	1,068	2,469	1,401	9,170
合計	29,390	33,373	3,983	128,589

(注) 当第1四半期より、連結子会社3社について、当社グループにおける事業上の位置付けを変更したことに伴い、事業内容の実態をより明確に反映させるために、その所属するセグメントを、1社については機能材料セグメントから石化セグメントへ、2社についてはその他セグメントから石化セグメントへ、それぞれ変更しております。  
 なお、変更後の区分に基づき、前年同四半期・前連結会計年度について数値を組み替えた場合のセグメント別連結売上高及び営業利益は次の通りであります。

(参考)前年同四半期・前連結会計年度組替後

セグメント別連結売上高(外部顧客に対する売上高) (単位:百万円)

	前年同四半期 (平成18.4.1~平成18.6.30)	当第1四半期 (平成19.4.1~平成19.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成18.4.1~平成19.3.31)
石化	280,088	334,305	54,217	1,263,152
機能商品	223,035	225,663	2,628	908,486
(機能化学)	(132,108)	(132,719)	(611)	(525,706)
(機能材料)	(90,927)	(92,944)	(2,017)	(382,780)
ヘルスケア	76,004	76,198	194	304,722
その他	27,155	28,843	1,688	146,460
合計	606,282	665,009	58,727	2,622,820

セグメント別連結営業利益 (単位:百万円)

	前年同四半期 (平成18.4.1~平成18.6.30)	当第1四半期 (平成19.4.1~平成19.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成18.4.1~平成19.3.31)
石化	1,787	8,051	6,264	29,070
機能商品	13,716	14,103	387	58,485
(機能化学)	(9,319)	(9,548)	(229)	(35,037)
(機能材料)	(4,397)	(4,555)	(158)	(23,448)
ヘルスケア	12,950	11,472	1,478	39,616
その他	2,005	2,216	211	10,588
コーポレート	1,068	2,469	1,401	9,170
合計	29,390	33,373	3,983	128,589



平成20年3月期 第1四半期連結決算概要

平成19年7月31日  
 (株)三菱ケミカルホールディングス

主要前提

	前年同四半期	当第1四半期	
為替レート	117	119	円 / U.S. \$
ナフサ単価(国産)	48,800	58,000	円 / KL

損益計算書

	前年同四半期 (H18.4.1- H18.6.30)	当第1四半期 (H19.4.1- H19.6.30)	増減		減価償却制度 変更影響	中間予想 (H19.5.10公表)
				(%)		
売上高	6,063	6,650	587	9.7%	-	13,700
営業利益	294	334	40	13.6%	24	610
金融収支	4	15	11		-	40
その他営業外	11	11	0		-	30
持分法損益	48	39	9		3	50
経常利益	349	369	20	5.7%	27	590
特別損益	54	9	63		-	60
税引前利益	403	360	43	10.8%	27	530
法人税等	177	156	21		10	220
少数株主損益	8	3	11		-	0
当期純利益	218	207	11	5.2%	17	310

セグメント別売上高・営業利益

		前年同四半期 (H18.4.1- H18.6.30)	当第1四半期 (H19.4.1- H19.6.30)	増減		減価償却制度 変更影響	中間予想 (H19.5.10公表)
					(%)		
売上高	石化	2,801	3,343	542	19.4%	-	6,800
	機能商品	2,230	2,256	26	1.2%	-	4,600
	機能化学	(1,321)	(1,327)	(6)	(0.5%)	-	(2,600)
	機能材料	(909)	(929)	(20)	(2.2%)	-	(2,000)
	ヘルスケア	760	762	2	0.3%	-	1,600
	その他	272	289	17	6.2%	-	700
	合計	6,063	6,650	587	9.7%	-	13,700
営業利益	石化	18	81	63	350.5%	8	150
	機能商品	137	141	4	2.8%	11	270
	機能化学	(93)	(95)	(2)	(2.5%)	(8)	(160)
	機能材料	(44)	(46)	(2)	(3.6%)	(3)	(110)
	ヘルスケア	130	115	15	11.4%	1	210
	その他	20	22	2	10.5%	1	40
	コーポレート	11	25	14	131.2%	3	60
合計	294	334	40	13.6%	24	610	

注) 1. 当第1四半期より、連結子会社3社について所属セグメントを変更しており、前年実績値も組替えております。  
 2. 当第1四半期より、法人税法の改正に伴い、減価償却費に関する処理を一部変更しております。

貸借対照表

	前連結会計年度末 (H19.3.31)	当第1四半期末 (H19.6.30)	(億円)	
				増減
流動資産	11,458	11,822		364
固定資産	7,598	7,717		119
投融資等	4,132	4,168		36
資産計	23,188	23,707		519
流動負債	10,107	10,532		425
固定負債	5,493	5,454		39
純資産	7,588	7,721		133
(うち自己資本)	(7,122)	(7,265)		(143)
負債・純資産計	23,188	23,707		519
有利子負債(含割手)	7,433	7,735		302
D/Eレシオ	1.04	1.06		0.02
負債・純資産比率	0.98	1.00		0.02
自己資本比率	30.7%	30.6%		0.1%

[参考] 通期業績予想(平成19年5月10日公表)

平成20年3月期 (億円)	
売上高	29,000
営業利益	1,480
経常利益	1,450
特別損益	1,080
税引前利益	2,530
法人税等	540
少数株主損益	130
当期純利益	1,860

注)  
 D/Eレシオ = 有利子負債(含割手) / 自己資本  
 負債・純資産比率 = 有利子負債(含割手) / 純資産  
 自己資本 = 純資産の部合計 - 新株予約権 - 少数株主持分